

令和6年度 第2回 東播臨海広域ごみ処理連絡会議

会 議 録

1 開会及び閉会の年月日時並びに場所

開会：令和6年12月2日（月）午後2時00分

閉会：令和6年12月2日（月）午後2時30分

場所：エコクリーンピアはりま 管理棟4階 大会議室

2 会議に出席した者の職及び氏名

会長（議長） 高砂市長 都 倉 達 殊

委員 加古川市長 岡 田 康 裕

委員 稲美町長 中 山 哲 郎

委員 播磨町長 佐 伯 謙 作

3 議事

- （1） 電力地産地消事業について
- （2） 赤穂市からの可燃ごみの受入について
- （3） その他

4 議事の経過及び確認事項

令和6年度 第1回 東播臨海広域ごみ処理連絡会議（令和6年7月10日（水）開催）会議録を確定。

（1） 電力地産地消事業について

① 事務局から議事（1）について説明。

- ・ 電力地産地消事業に係る検討結果について
- ・ 事業方向性の決定について

② 議事（1）について、電力地産地消事業については地域新電力会社を設立して実施する方向で進めていくこと並びに、決定は、東播臨海広域行政協議会審議会に諮ることを全委員で確認した。

③ 質疑応答

- ・ 加古川市長

負荷率28%未満の施設への電力供給であれば採算性を確保できるため、地域新電力会社設立に向けて進めていただきたい。会社の事業拡大にあたっては、2市2町で慎重に議論、検討を行っていただきたい。

- ・ 事務局

2市2町担当者間にて効果的な事業方法を協議、検討のうえ、首長判断をいただきたい。

（2） 赤穂市からの可燃ごみの受入について

① 事務局から議事（2）について報告。

- ・ 赤穂市からの可燃ごみの受入について

② 議事(2)について全委員が確認した。

(3) その他
特になし。

(傍聴者 なし)

以 上